

**世界 80 か国の受験データをもとに英語能力動向を分析
2017 年 EF EPI 英語能力指数報告書、日本は 37 位とわずかに下落
～ 日本人の英語能力の停滞も示唆 ～**

留学・語学教育事業を展開する世界最大規模の私立教育機関、イー・エフ・エデュケーション・ファースト(EF Education First、以下 EF)の日本法人であるイー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 サンチヨリ・リー)は本日、語学能力評価基準 CEFR(セファール)に準拠した EF EPI 英語能力指数(EF English Proficiency Index、以下 EF EPI)の 2017 年版報告書に基づき、非英語圏各国の英語力レベルの世界ランキングを発表しました。

EF EPI は、過去に実施された英語能力テストの結果データに基づき、英語能力を経年的に計測、追跡する世界規模のベンチマークとして開発された指数で、無料の英語能力測定テストから得られるビッグデータを利用することで、世界規模の広範かつ標準化された指標データを提供できることが特徴です。また、CEFR に準じているため、TOEFL や TOEIC、IELTS など既存のスコアへの換算も可能です。

今年で 7 回目となる EF EPI 英語能力指数報告書は、調査対象国¹が前年度より 7 か国増え、世界 80 か国、100 万人以上の英語学習者(18 歳以上)の無料英語能力測定テスト EF SET²のデータを用いて作成されました。世界ランキングでは、前年に続いてオランダが 1 位となったほか、ヨーロッパ各国がランキング上位を占める結果となりました。日本は、2016 年調査に比べ 2 ランク下落の 37 位、EF EPI スコア(数値)では、ほぼ横這いの 51.69 ポイント(+0.65 ポイント)にとどまり、日本人の英語能力は停滞していることが明らかになりました。

■ 2017 年 EF EPI 英語能力指数報告書の主なポイントは以下となります。

1. 日本の順位、動向について

日本の順位は、昨年 11 月に発表された「2016 年 EF EPI 報告書」の順位(72 か国中 35 位)から 2 位ランクダウンし、80 か国中 37 位(能力レベルの分布では“低い英語能力”に位置)となりました。また、EF EPI スコアはほぼ横這いの +0.65 ポイントとなり、スコア下落が顕著であった昨年より挽回したものの、7 年連続で日本人の英語能力レベルは低下していることが明らかになりました。

¹ この指標には、受験者が 400 人を超える国のデータのみを使用しています。多くの国において受験者数は 400 人を大きく上回っており、合計 80 の国と領域が対象国に含まれています。

² EF SET には、コンピュータ適応型階層システムを導入し、受験者の英語能力に応じた設問を出題するアダプティブテスト形式を採用。従来テストに比べより幅広いレベルの能力を測定することができ、大学や組織単位の語学力の測定、統計分析も可能です。各国の教育機関での導入が進められているほか、東京大学やハーバード大学での研究にも利用されています。

2.アジア諸国の動向

昨年に続き、アジア諸国で最もランキングの高い国はシンガポール(80 か国中 5 位)となりました。EF EPI スコアでも、シンガポールは+2.51 ポイントと昨年よりさらに大きく伸び、著しい上昇を続けています。また、タイもスコアを大きく伸ばし(+2.57 ポイント)、能力レベルが“非常に低い”から抜け出す一方、インドやカザフスタンが下落したほか、カンボジア、ラオスが能力レベルが最も低い下位 10%に位置するなど、アジア地域内の能力格差が一段と開いた結果となりました。

3.ランキング上位国について

昨年同様、2017 年調査でもヨーロッパが最も英語能力が高い地域となり、オランダが 2 年連続 1 位を獲得、また、北欧 3 か国(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー)がそれに続けました。トップ 10 にはヨーロッパ諸国がひしめくなか、シンガポールが 5 位にランクアップ(2016 年 6 位)、また初参加の南アフリカが 8 位にランクインしました。

4.都市別能力指数の動向

都市別の動向では、東京が昨年に続き最も高い指数 54.81 を示すものの、昨年より 1.37 ポイント下落しました。一方、横浜市は昨年より 1.34 ポイント伸び 52.86 をマークし、関東地域の数値が下落傾向の中、都市別では最も高い伸びとなり、英語能力レベルも“低い”から“標準的”へと改善しました。

本調査を踏まえ、EF 研究所所長 兼 EF SET アカデミック・シニア・ディレクターの Minh N. Tran は次のように述べています。「現在のグローバル環境において英語は国際コミュニケーションに不可欠であり、教育現場のみならず政府や企業においても自国の英語能力の向上に多大な投資が行われています。こうした中、EF EPI は世界各国の英語能力レベルを経年的、俯瞰的に把握するのに役立っています。今後も英語教育の課題や教育方法の議論に貢献するものと期待しています」とコメントしています。

なお EF では、2017 年 EF EPI 英語能力指数報告書と合わせ、中高生、大学生、専門学校生の英語スキル習得を調査した学校向け EF 英語能力指数 EF EPI-s 2017 年報告書も公開しています。

2017 年 EF EPI 英語能力指数報告書の全文、および EF EPI と外部指標との相関関係の分析、2017 年 EF EPI-s 報告書の詳細は以下のページでご覧いただけます。

<http://www.efjapan.co.jp/epi/>

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社について

1965 年に、『Education First (教育を第一に)』をモットーにスウェーデンで設立したイー・エフ・エデュケーション・ファーストは、世界最大規模の私立教育機関です。現在では世界 53 か国以上の国々に 500 を超える事業拠点、及び、直営語学学校を擁し、[語学留学](#)プログラム等、グローバルに教育事業を展開しています。

本件に関する報道関係のお問い合わせ

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社

担当: PR マネージャー遠藤 玲奈 TEL: 03-5774-6206 E-mail: reina.endo@ef.com

添付資料

2017 年 EF EPI 英語能力指数ランキング

順位	国	EF EPI スコア	英語能力 レベル	順位	国	EF EPI スコア	英語能力 レベル
1	オランダ	71.45	非常に高い	41	ブラジル	51.92	低い
2	スウェーデン	70.40	非常に高い	42	マカオ	51.87	低い
3	デンマーク	69.93	非常に高い	43	ウルグアイ	51.73	低い
4	ノルウェー	67.77	非常に高い	44	メキシコ	51.57	低い
5	シンガポール	66.03	非常に高い	45	チリ	51.50	低い
6	フィンランド	65.83	非常に高い	46	バングラデシュ	50.96	低い
7	ルクセンブルグ	64.57	非常に高い	47	ウクライナ	50.91	低い
8	南アフリカ	63.37	非常に高い	48	キューバ	50.83	低い
9	ドイツ	62.35	高い	49	パナマ	50.68	低い
10	オーストリア	62.18	高い	50	ペルー	50.50	低い
11	ポーランド	62.07	高い	51	コロンビア	49.97	低い
12	ベルギー	61.58	高い	52	パキスタン	49.88	低い
13	マレーシア	61.07	高い	53	タイ	49.78	低い
14	スイス	60.95	高い	54	グアテマラ	49.52	低い
15	フィリピン	60.59	高い	55	エクアドル	49.42	低い
16	セルビア	59.37	高い	56	チュニジア	49.01	低い
17	ルーマニア	59.13	高い	57	アラブ首長国連邦	48.88	低い
18	ポルトガル	58.76	高い	58	シリア	48.49	非常に低い
19	ハンガリー	58.61	高い	59	カタール	48.19	非常に低い
20	チェコ共和国	57.87	高い	60	モロッコ	47.91	非常に低い
21	スロバキア	57.63	高い	61	スリランカ	47.84	非常に低い
22	ブルガリア	57.34	標準的	62	トルコ	47.79	非常に低い
23	ギリシャ	57.14	標準的	63	ヨルダン	47.40	非常に低い
24	リトアニア	57.08	標準的	64	アゼルバイジャン	46.97	非常に低い
25	アルゼンチン	56.51	標準的	65	イラン	46.60	非常に低い
26	ドミニカ共和国	56.31	標準的	66	エジプト	46.51	非常に低い
27	インド	56.12	標準的	67	カザフスタン	45.95	非常に低い
28	スペイン	56.06	標準的	68	ベネズエラ	45.71	非常に低い
29	香港	55.81	標準的	69	エルサルバドル	45.70	非常に低い
30	韓国	55.32	標準的	70	オマーン	44.48	非常に低い
31	ナイジェリア	54.74	標準的	71	モンゴル	44.21	非常に低い
32	フランス	54.39	標準的	72	サウジアラビア	43.98	非常に低い
33	イタリア	54.19	標準的	73	アンゴラ	43.49	非常に低い
34	ベトナム	53.43	標準的	74	クウェート	43.14	非常に低い
35	コスタリカ	53.13	標準的	75	カメルーン	42.45	非常に低い
36	中国	52.45	低い	76	アルジェリア	42.11	非常に低い
37	日本	52.34	低い	77	カンボジア	40.86	非常に低い
38	ロシア	52.19	低い	78	リビア	38.61	非常に低い
39	インドネシア	52.15	低い	79	イラク	38.12	非常に低い
40	台湾	52.04	低い	80	ラオス	37.56	非常に低い

日本の地方／都市別ランキング

2017 年

地域	EF EPI	都市	EF EPI	地域別比較値
関東	53.14	東京	53.44	+0.30
中部	52.78	横浜	52.86	-0.28
関西	52.10	川崎	52.55	-0.59
北海道	50.39	名古屋	52.39	-0.39
中国	49.88	京都	52.36	+0.26
九州	49.44	神戸	52.19	+0.09
		大阪	51.67	-0.43
		千葉	51.62	-1.52
		埼玉	51.23	-1.91
		札幌	50.82	+0.43
		福岡	49.61	+0.17

2016 年

地方	EF EPI	都市	EF EPI	地域差
関東	53.45	東京	54.81	+1.36
関西	52.63	神戸	54.51	+1.88
中部	52.19	京都	53.92	+1.29
九州	51.67	名古屋	53.11	+0.92
中国	51.34	大阪	52.18	-0.45
東北	50.21	札幌	51.55	+2.09
北海道	49.46	横浜	51.52	-1.93
		福岡	51.43	-0.24

能力指標 ● 非常に高い ● 高い ● 標準的 ● 低い ● 非常に低い